

事業名	地下水族科学館もぐらんぴあ整備関連事業
------------	----------------------------

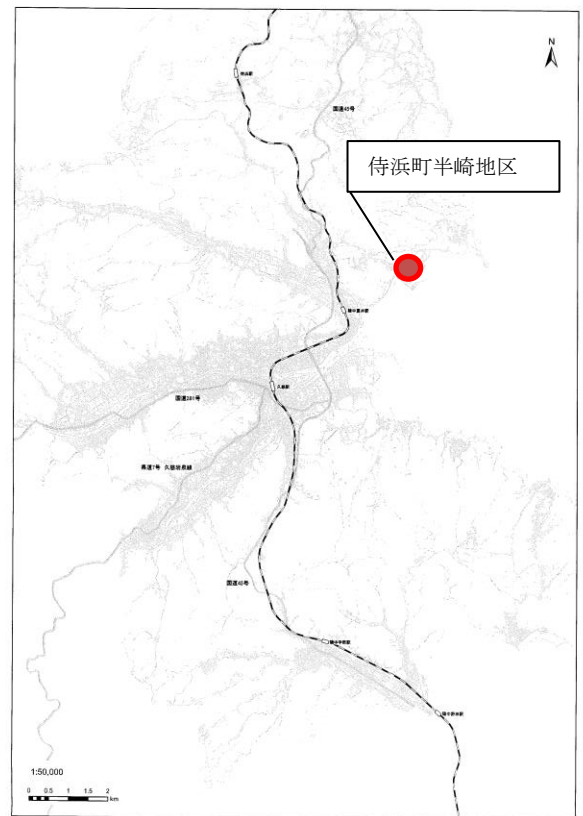
1. 事業目的

東日本大震災による津波により、地下水族科学館もぐらんぴあや隣接する産直施設は全壊、流出という被害を受けた。また、同じ半崎地区にあった久慈国家石油備蓄基地や、北日本造船久慈工場も壊滅的な被害を受けたところである。

しかし、同地区においては、再生可能エネルギーの活用・供給拠点を整備する構想があるほか、湾口防波堤の整備によって久慈湾の静穏域が確保されれば、多くの船舶の入港が予想され、養殖漁業やマリンスポーツの拠点的な区域となり、市の内外から多くの方が訪れる場所となる。

このような、甚大な津波被害を受けつつも様々な人が集まる地区において、津波の恐ろしさや復興までの過程などを地域内外の方、及び後世に伝える必要があり、復興の拠点となる施設を整備する。

2. 事業位置図



3. 事業概要

地区名	施設概要等	事業費 (千円)	工事期間	
			着手	完了
侍浜町 半崎地区	地下水族科学館もぐらんぴあ管理棟の復旧 施設規模：RC造5階建 延べ床面積 1,485.89 m ² 事業費内訳： ○文科省災害復旧事業（3フロア分）：621,282千円 ※水族館部分の復旧を含む ○復興交付金事業：369,350千円 【内訳】 産直施設（1フロア分）整備：117,631千円 防災教育施設（1フロア分）整備：99,647千円 防災教育施設展示物整備：52,500千円 大型水槽の整備：99,572千円	990,632 (配分額)	H26.9	H28.2

4. 事業の経過状況

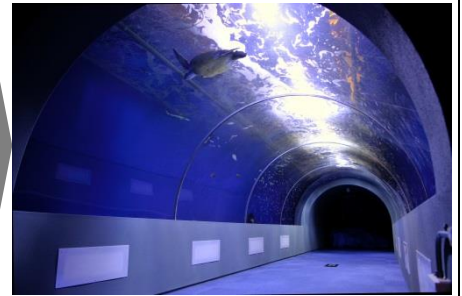
(1) 地下水族科学館もぐらんぴあ地下トンネル



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

(2) 地下水族科学館もぐらんぴあ管理棟



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)